



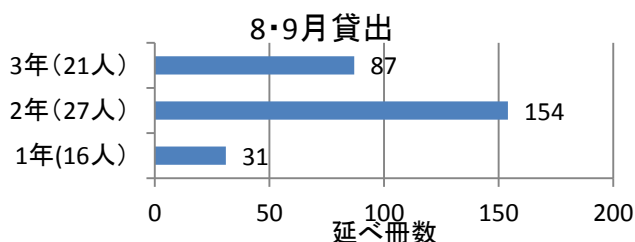
燈火親しむ・・・秋の夜長は家族で読書



「春燈（しゅんとう）には遊びを思い，秋燈（しゅうとう）には学問を思う。」と言ったのは山本健吉氏ですが，秋の夜長は，心静かに物を考えたり読書をしたりするには最もふさわしい時間です。「燈火親しむ」の原典は，唐の詩人，韓退之（かん たいし）の詩の一節からとられたものですが，今ではおなじみの言葉として定着しています。読書の秋。テレビを消し，ゲームをやめて家族そろって読書をしましょう。みなさんが読み聞かせをするのも楽しそうですね。



10月27日～11月9日までの2週間は読書週間です



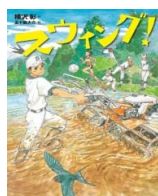
今月の移動図書館「ゆめはこぶくん」  
★10月11日（木） 昼休み

家族で楽しめるおすすめ本



おコン草子 齋藤飛鳥 著

キツネと人の間に生まれた，おひげの女の子・おコンは，体は弱いが気は強い長者さまの末息子・弥兵の命を助けるために，一人旅立ちます。目指す先は，おっかない化け物どもが出るイラズ山。赤鬼，青鬼や大グモ，大ムカデ，さらには大イノシシ，大ナマズまでやってきて，はたして，おコンの運命は・・・。手に汗握る冒険の結末はいかに？



スウイング！ 横沢彰 著

“本気でやりたいなら，自分を信じろ”耕うん機のエンジン音から聞こえる父さんの声。直は，残された田んぼを耕す決意をするが，チームメンバーたちは直の決断に揺れる。「野球，やめるわけじゃねえんだよな。」中学最後の公式戦まであと二か月。「野球も田んぼも，本気でやる。」直が，仲間と全力で駆けぬける。



君たちはどう生きるか 吉野源三郎 原作 羽賀翔一 漫画

知的好奇心旺盛な少年「コペル君」と，彼を亡き父親の代わりに見守る教養ある「おじさん」。そんなふたりの心温まるやりとりを通じて，生きる意味を平易に，深く説いた児童向け教養小説の古典が初めてマンガ化された。（すべてが漫画だけでなくおじさんからのノートにある助言は，文章になっているので，家族で読める一冊です。）



サバイバルファミリー 矢口史靖 著

ある日突然，電気がこの世界から消滅！東京に暮らす4人家族（鈴木家）が直面する，超絶不自由生活！次第に食料や水が乏しくなっていく中で父が下した決断は，「東京を脱出する」であった。何がおきているのか分からない状況で，果たして鈴木一家は生き残れるのか？笑いあり涙あり，平凡な家族の感動の物語。

